

『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る

農業者代表アンケート調査結果

実施期間：2014年8月4日～8月15日

対象者：農業者代表者 15名

回答数：15名（回答率：100%）

注)「2 トレンド調査結果」における回答理由・自由回答等は、原則として原文のまま掲載しています。

目次

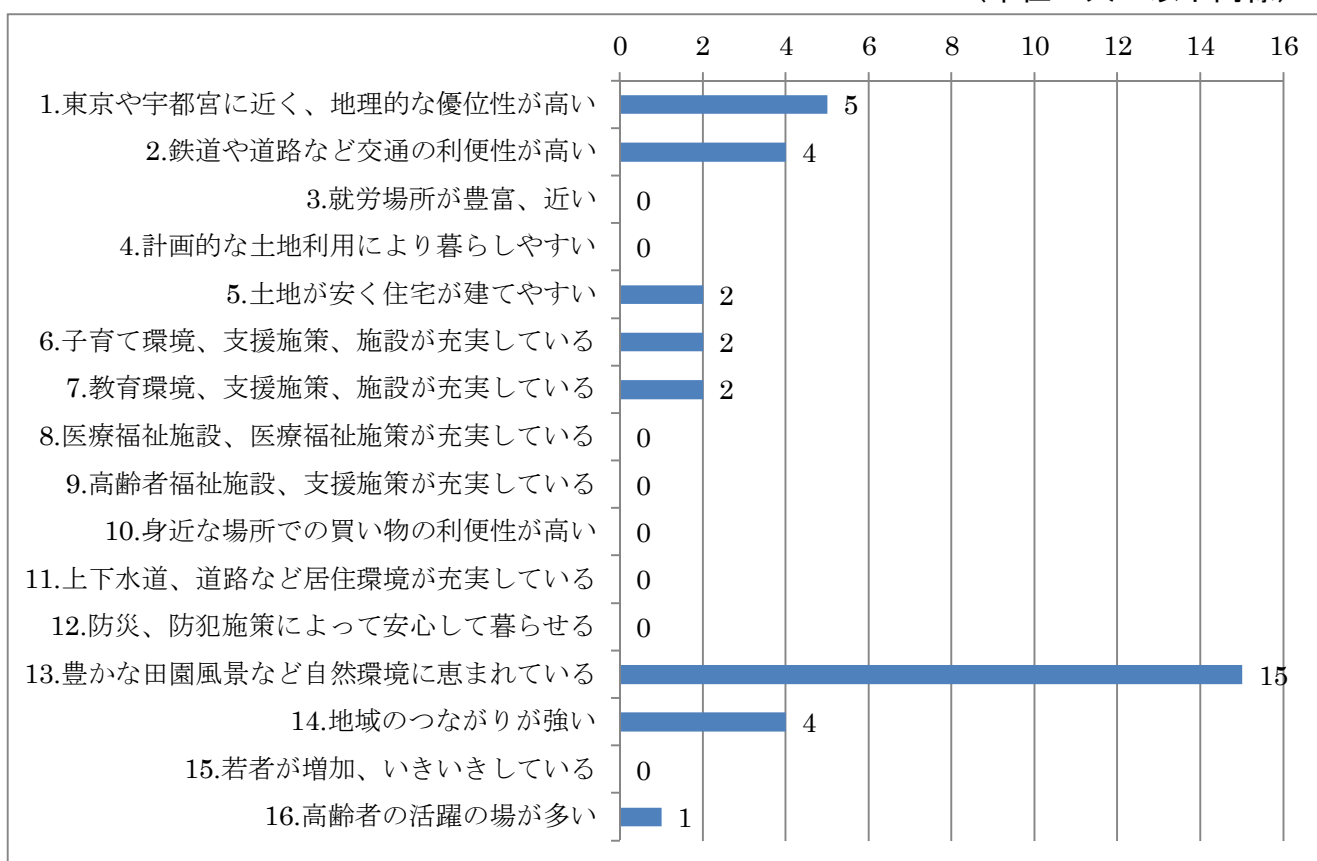
1.町の強み（他市町と比較して優れている点）・・・・・・・・・・	2
2.町の弱み（他市町と比較して劣っている点）・・・・・・・・・・	5
3.定住人口増加対策における町の方針に対するあなたの考え・	8
4.町の土地利用に対するあなたの考え・・・・・・・・・・	11
5-1.高根沢町の農業の将来展望・・・・・・・・・・	13
5-2 将来に向けて高根沢町の農業経営を安定的に維持・発展 させていくための必要な取組み・・・・・・・・・・	14
アンケート調査票・・・・・・・・・・	16

1. 町の強み（他市町と比較して優れている点）〔問1：3つまで選択可能〕

町の強みとして、回答者が最も多くあげたのが、「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている (15)」となっている。次いで、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い (5)」「2. 鉄道や道路など交通利便性が高い (4)」「14. 地域のつながりが強い (4)」で、自然、立地条件、及び地域コミュニティに関する評価が高い。特に、選択肢13は回答者全員が選択している。

選択肢13の選択理由としては、田園風景の美しさなどが多く、そのほか騒音のない静かな環境が担保されていること、選択肢1の選択理由としては、東京や宇都宮までの交通アクセスの良さ、選択肢14の選択理由としては、熱心な自治会組織による伝統行事の保存があげられた。

(単位：人 以下同様)



○その理由 [問 1.自由回答]

No	選択肢 1 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高いを選んだ理由
1	烏山線の起点でもあり、他町にはない交通利便性がある。
2	地理的優位性は高いと考えられるがさらなる車利用による鬼怒川橋の混雑解消や電車による駅周辺の駐車場計画整備の充実を図る必要性もある。
3	自動車や電車を利用すれば、宇都宮は 20 分以内、東京へも 1～2 時間程度で行ける。
4	新幹線を利用して約 1 時間で東京まで行ける。

No	選択肢 2 鉄道や道路など交通の利便性が高いを選んだ理由
1	中央部分の田園地帯は東日本大震災においても被害が少なく、災害に強い場所であるこの点もアピールすべきだと思う。
2	宝積寺、下野花岡、仁井田各駅から鉄道を利用させることにより、また駅まで自転車を利用することで環境に貢献することができる。

No	選択肢 5 土地が安く住宅が建てやすいを選んだ理由
1	宇都宮に比べて安い。

No	選択肢 6 子育て環境、支援施策、施設が充実しているを選んだ理由
1	待機児童 0 を実現させ子育て環境については充実を図っているが働く時間の多様性などにより調整のむずかしさや費用の負担の軽減などもさらに進める必要性を感じる。
2	カーボンニュートラルで環境に貢献できる。

No	選択肢 7 教育環境、支援施策、施設が充実しているを選んだ理由
1	学童保育の利用で、長時間労働ができる。

No	選択肢 13 豊かな田園風景など自然環境に恵まれているを選んだ理由
1	区画が整った中央部と鬼怒川東の水田地帯と東と西に台地があり、町全体での公園化構想を進め、核となる元気あっぴむらは周辺の山林も自然が十分あり活用が望まれるところである。発信不足である。

No	選択肢 13 豊かな田園風景など自然環境に恵まれているを選んだ理由（前頁続き）
2	水田を中心として、四季を感じることができる。春の水田、春風で麦のウェーブ、秋の稲穂の波などは田舎の宝物である。
3	蛭が育つ川をもっている。
4	豊かな自然の中で子育てができる
5	豊かな田園風景、自然環境に恵まれている。現段階では団塊の世代の農家の人が多いため、農地の手入れが行き届き、耕作放棄地などが無いので。
6	私は東部地区に住んでいます。周りは田んぼや山に囲まれ、騒音などない充実した生活をしています。
7	季節の移り変わりを感ぜられる。
8	稲の緑と麦の金色に染まる時期が高台から見るときれいです。

No	選択肢 14 地域のつながりが強いを選んだ理由
1	自治会がしっかり組織されており、また、各集落での行事や集まりも多くある。
2	隣、近所、地域、人情味があふれている。
3	どんど焼きや梵天など、地域ならではの祭りが盛んである。
4	地域のつながりが強い。農村部ではいまだに「遠くの親戚より近くの他人」というように近所関係を大事にしている。しかし・・・。

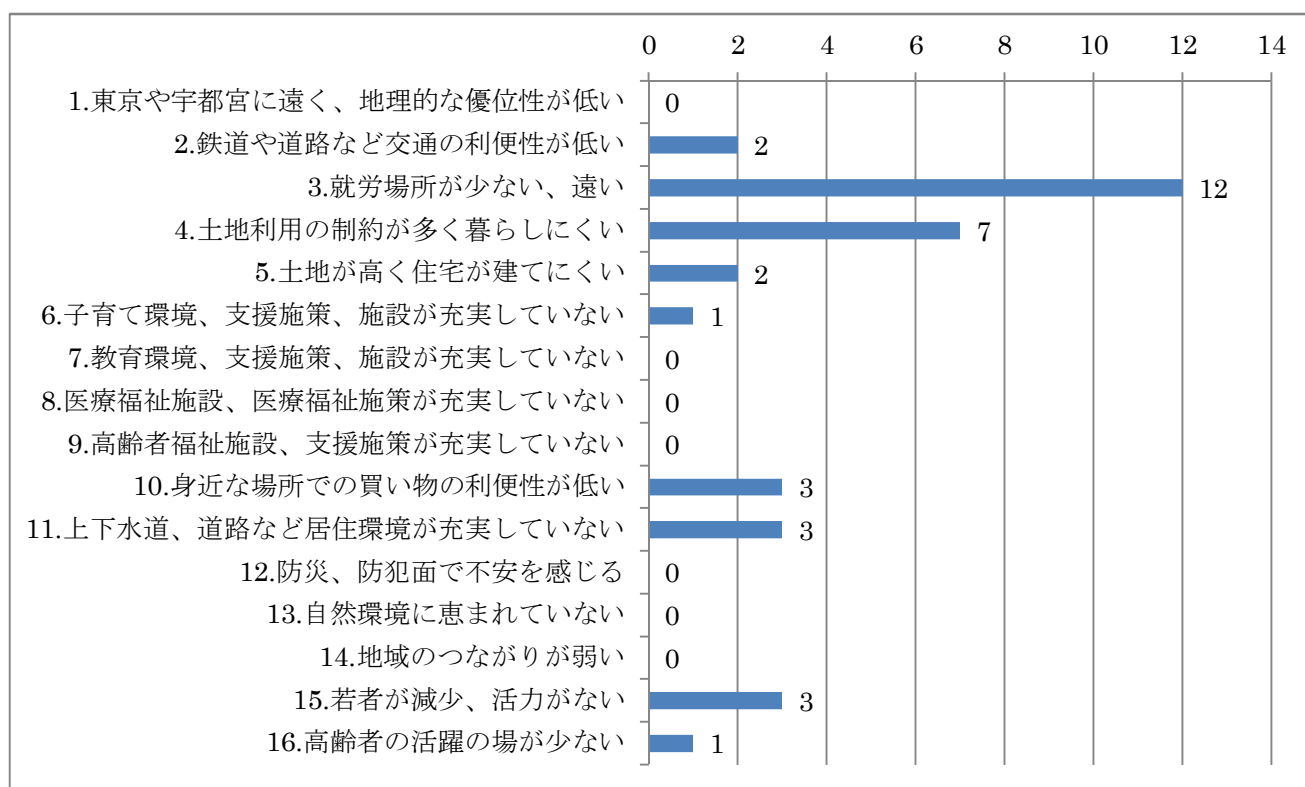
○お気づきの点

1	元気あっぷむらが中心より離れすぎているために何か良い案があれば考えてみては。
2	広い土地があるので有効活用しやすいのでは。

2. 町の弱み（他市町と比較して劣っている点） [問2：3つまで選択可能]

町の弱みとして、回答者が最も多くあげたのが、「3. 就労場所が少ない、遠い (12)」となっている。次いで、「4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい (7)」「10. 身近な場所での買い物の利便性が低い (3)」「11. 上下水道、道路など居住環境が充実していない (3)」「15. 若者が減少、活力がない (3)」で、就労環境、住宅環境、生活インフラなどに関する評価が低い。

選択肢3の選択理由としては、キリンビール撤退など雇用を多く生む大企業などがいないこと、雇用を生み出す施策がないことなど、選択肢4の選択理由としては、無秩序な開発は避けるべきとしながらも、開発制約により、地域内で開発状況に違いがある、選択肢11の選択理由としては、一部地域の下水道の普及率の低さ、農道の未舗装など、選択肢15の選択理由としては、青年団活動があまり活発ではないなどの意見があげられた。



○その理由 [問 2.自由回答]

No	選択肢 2 鉄道や道路など交通の利便性が低いを選んだ理由
1	子どもが塾や高校に通う際交通の便が悪く、親の送り迎えが必要になってしま う。親が病院がよいになると便が悪く、送り迎えで時間が取られるなど、不便 さが生活面で、場所によっては考えられ高根沢に住みたがらない。
2	駅まで遠く、バスもないので、通勤、通学も不便。

No	選択肢 3 就労場所が少ない、遠いを選んだ理由
1	キリンビールの撤退によって働く場所や町のシンボルがなくなってしまった。
2	農地資源は豊かでありながら雇用を生み出すような施策もない。
3	大企業がなく、JA、役場、銀行などに就職が集中してしまう。
4	企業の誘致。
5	キリンビールの撤退で、就労の場が少なくなった。
6	就労場所が少ない、遠い。就労人口に対して就労場所が少ない。生産性、雇用 のないところに人は住まない。
7	工場等が多いが、人を雇える所が少ない。
8	働く場所がなければ人口は減少してしまうと思う。
9	通勤時間を短縮するため人口減少になる。

No	選択肢 4 土地利用の制約が多く暮らしにくいを選んだ理由
1	無秩序な開発は慎むべきであるが、優良企業の進出やサービス業のような人材 の雇用に結びつく施設の必要性はあると思う。また過疎化する学校周辺への住 宅建設などもぜひ推進すべきと思う。
2	子どもが同じ家の敷地内に家を建てる時に制約があるためなかなか建てづら い。
3	市街化区域と調整区域の線引きが厳しい。
4	土地利用の規制が場合によっては地域と市街地との格差を一層広げている。水 田は規制は必要だが、東部畑地帯では一部作物を除いて、放置状態であり、今 後ますます放棄地が多くなると思う。

No	選択肢 5 土地が高く住宅が建てにくいを選んだ理由
1	バブル時代にできた住宅地では地価が高く、充足率が満たないので周辺への開発ができないのであれば、人口増加を望んでも、他町の地価の安いところへ移動してしまい、現在の住人も家を持つときには出て行ってしまわないか。
2	さくら市に流出している。

No	選択肢 6 子育て環境、支援施策、施設が充実していないを選んだ理由
1	身近な場所に遊べる施設（公園など）が少ない。

No	選択肢 11 上下水道、道路など居住環境が充実していないを選んだ理由
1	旧市街地は道路なども狭く、下水道もなく苦労していると聞いている。イメージとして、定着してしまうと市街地全体がと誤解されかねないので、全町水道カバー率や下水道の普及率についてもさらに進めるべきと思う。
2	国、県道以外はいまだに砂利道の所がある。

No	選択肢 15 若者が減少、活力がないを選んだ理由
1	青年団活動が盛んに行われているとは思えない。

No	選択肢 16 高齢者の活躍の場が少ないを選んだ理由
1	定年退職後の再就職できる職場がない。

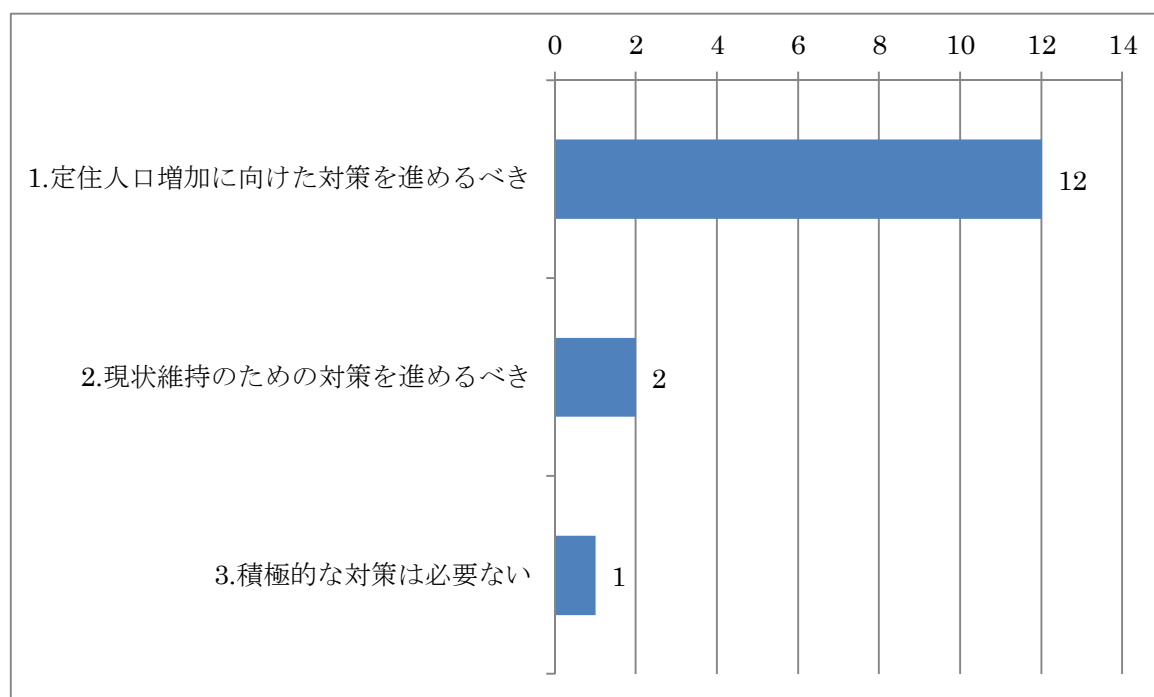
〇お気づきの点

1	農林水産省の補助の活用の仕方を考えては。
2	大企業がもっと高根沢の土地を利用してくれれば、活気ができるのでは。
3	ショッピングモール（一カ所で何でも買える場所がない）。おしゃれ感がない。

3. 定住人口増加対策における町の方針に対するあなたの考え [問3：1つ選択]

定住人口増加対策における町の方針に対する考えとしては、「定住人口増加に向けた対策を進めるべき（12）」が大半を占めた。

ご意見・ご提言としては、企業誘致を含む就労環境向上、町内の交通アクセスの向上（オンデマンド交通活用）、規制緩和による安価な宅地取得、子育て支援などがあげられた。



〇ご意見・ご提言

1	賃貸住宅（アパート・マンション）などが相続対策により必要以上に乱立し、その経営者も住む人も種々迷ってしまっています。若い人も職場（たとえば本田技研様）などの配置転換などで移転しているのが現状です。幸いに地価が低価格になっているため、このチャンスを生かし住宅を建てる人に補給を考えてみては。
2	麒麟ビール跡地への企業の誘致。 花岡駅前の開発（農地としてかなり苦労して現在利用している）。
3	定住人口については持ち家の住民の増加や自治会加入の充実等が図られなければ町に対する愛着や地域の発展に寄与していく住民にはなってもらえないと考える。 また仕事場が町外で泊まりに帰るだけというのではなかなか町とのかかわりができにくいと思うので一考する必要があると感じる。
4	人口減少傾向は高根沢町だけの現象ではない。
5	企業誘致で労働する場を作り、土地利用の制約を緩めることで、安価な宅地を取得しやすくなることで定住人口が増す。さらにそれによってショッピングモールなどもでき、住みやすくなり、さらに定着者が増えていくのではないでしょう。
6	まずは何をするにももっと交通の便が良くならなくてはと思う。年配の方も若者も自分の力で生活しやすくしなくては、田舎のほうに限って、タクシーを使う意識が薄く、デマンドの活用が薄い。デマンドを始めたときに、タクシー代わりに使ってはダメですと言われたことも響いているのかもしれない（すぐに変えたようですが）何もかも車を運転できる家族にのしかかってきてはいかかなものかと。
7	企業を誘致して就労の場所を増やす。 学校の周辺の調整区域を外す。
8	国全体の人口が減っている中でこれといって魅力的でもない高根沢町が人口増加するとは思えないので、まずは現状維持のための対策を進めるべきと思う。減っていかない状況であれば増える可能性があると思う。まず人口が増加するには近隣の住民が入ってくるか、外国人が入っていく以外には急に人口増加には至らない。
9	子育て支援の充実。 小学生まで医療の無償化。

10	<p>定住人口増加の必要はないというわけではないが、全体的に人口が減少している中で、まずは現状維持の対策をしたほうが良いのではないかと思う。現状維持というのも困難なことだとは思うが、それがゆくゆくは人口増加へとつながるのではないかと思う。</p> <p>「いってらっしゃい」と見送った子供が、笑顔で「ただいま」と帰ってくる当たり前の日常が危険に冒されることのないような環境づくりも必要だと思う。</p>
11	<p>結婚をしていない人が多く、出会いの場（婚活パーティ）を設ける。</p> <p>子どもの医療費、給食費（3人目からは無料）の優遇。</p>
12	<p>人口減少はすべての市町村で言えることだが、一番重要なことはそこに働く場があることが大きな要素の一つであると思う。町内に雇用の場があれば、人の交流もあり、若者が町内に残る確率も高くなるのでは。</p> <p>市街地も町施設も西部地区に集中し、東部地区には利用施設がほとんどなく、地域によっては商店すらない現状であり、買い物なども他町のほうが近く、町内店を利用することは少ない。当然若い者も地域に残る可能性は少ない。</p>

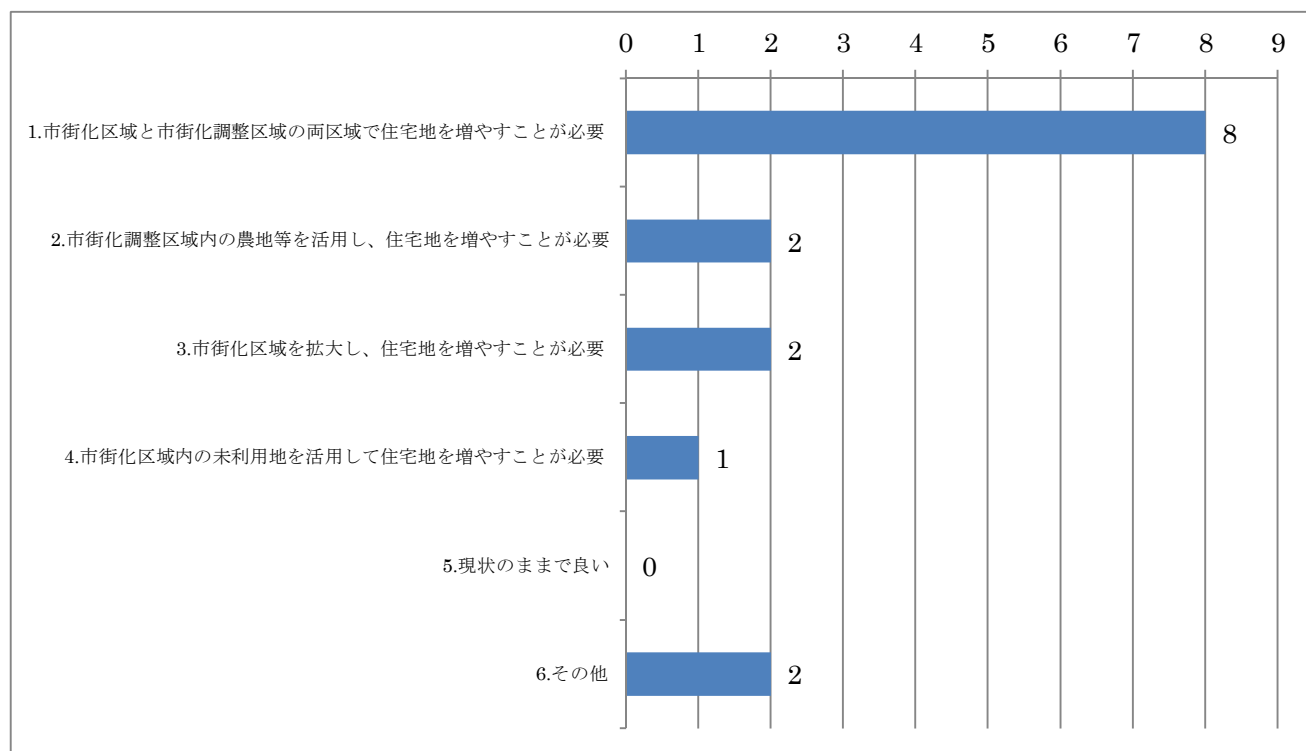
●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 農業代表者会議開催時における定住対策に関するご意見

- やはり働く場所の確保が大事である。
- 海外移転をする企業に対して税負担を大きくするなど国としても何らかの対策を検討してほしい。
- 町としては、優良企業誘致のため、10年間法人町民税を免除するなどの対策の検討が必要なのではないか。
- 定住人口増加を目指す際に、子どもや若い年齢層を増やすことを目的とするが、若い年齢層もいずれは年を取る。したがって、高齢者になった時に住みやすい町であることが重要であると思う。例えば、高齢者の労働環境が整っているなど。
- 今、すでに町内に住んでいる人たちにとって、出会いがなく結婚できないという人がいると思う。そのような人たちを対象とした支援制度はないのか。←（町：JA や町でも同支援の実績あり）
- 以前は青年団同士で結婚した人が多くいたが、活動がなくなってしまった。今は職場での出会いが多いので、相手が町外であれば出て行ってしまう。青年団活動が古いのであれば、高根沢独自のネーミングを考えて取組んではどうか。
- 農家は勤め人ではないので、職場で出会う機会はない。
- 視察で訪れた長野県川上村は人口5千人程度を維持している。農家1戸当たりの平均年収が2500万円くらいあり、耕作放棄地も離農者もない。農業は春から10月末まで、冬はスキーのインストラクターなど観光業についている。嫁不足に関しては、農家の息子は一度東京などに出て、結婚して、農家を継ぐため長野に戻ってくる人が大半であるため、その問題はないとのことであった。
- 若者は都会の住みにくさ、田舎の住みやすさを両方知っているので、仕事があれば田舎に戻ってくる。

4. 町の土地利用に対するあなたの考え [問4:1つ選択]

町の土地利用に対する考えとしては、「1 市街化区域と市街化調整区域の両区域で住宅地を増やすことが必要 (8)」が最も多かった。

ご意見・ご提言としては、宅地増強は大事としながらも、近隣との価格のバランスや農地との切り離し（住宅地での農作業トラブルを避けるため）などがあげられた。



〇ご意見・ご提言

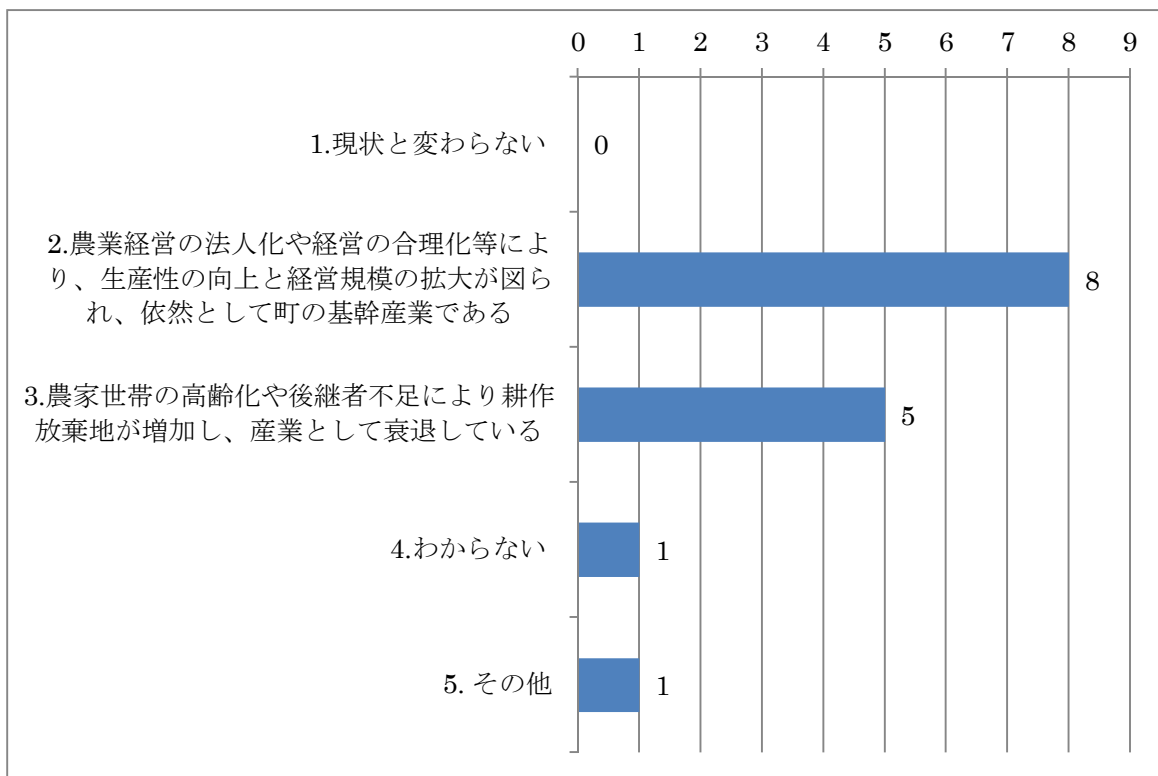
1	さくら市の勝山台地へ転入する方が多く見受けられる。 将来的にはさくら市や宇都宮市との合併も選択肢の一つと考えるべきだと思う。
2	人口の増加を図る施策は自分の中では有効な方法が考えられない。しかし前の大震災において中央の水田地帯はほとんど被害がなかった。安全なこの土地を使って、農業を中心として、企業も誘致して、災害に強い街づくりをキャッチフレーズにしてはどうか。
3	市街化区域の地価が簡単に下がるとは考えられないので小学校（農業地域で過疎化している）周辺への住宅地を安価に供給する必要性は緊急な課題であるとする。
4	農振ははずすべきではない。面積の問題ではない。 このアンケートにあるように、町のアドバンテージは何かをよく考えるべきだ。
5	たとえば、小学校を中心とした1 km以内の農地は宅地化できるようにすることなどが許されれば、安価な宅地も増えるのではないかな。
6	宇都宮にくらべ町からの福祉援助金がうすいような。たとえばペットの狂犬病とか家の太陽光の設備費とかその他もろもろ。それは一概にはいえないけれど、町がうるおっていないからでは。そのため、広い土地の企業への有効活用への努力も併用して考えていったほうが町がうるおってなくては安心して眠る場所には考えないのでは。宅地を売ることも必要だが、新しく住みだした人がここに来てよかったですという農村ならではの特徴を考えることも必要では。たとえば、せっかくある元気あつぷの施設をもっと利用して他町の人の力を借りて、もりあげる企画をもつとか。
7	利便性の良い土地を安価で提供する。
8	住宅地を増やすことは必要だと思うが、近隣との価格などの問題があると思う。
9	農業者にとって住宅街での作業はいろんなトラブルがあるそうなので宅地と農地は分けてほしい。
10	住宅地にはこだわらない土地利用を考えたいほうがよいのではないかなと思う。
11	墓地取得助成金の支給。 二世帯同居推進（家庭菜園ができる広さの畑を）。
12	市街化区域と調整区域では人口減少率に差があるのは、利便性、人的交流の点からも差が出ていると思う。水田地帯をのぞいては、どこの地域に行っても農地であり、不作地帯が増している。今後さらに増加すると思われる。そのような土地を住宅地として利用することができる方策（市街化区域拡大）も定住人口の増加につながるのではないかなと思う。

●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 農業代表者会議開催時における土地利用に関するご意見

- 高根沢町の場合、田園に宅地を作らなくとも、高台がいっぱいある。
- 高台が他の市町村と比べて値段が高く、買えない状況にある。さくら市では田んぼに家をどんどん建てている。
- 農業者にとっては非常に農業がやりにくい。
- 例えば、小学校から1キロ圏内は農振の対象外とし、宅地化できるようにしてはどうだろうか。
- （学校周辺での開発に関して）小学校は災害時など避難場所になるので、子供にとって学校通学や避難の際に徒歩で移動できるのは良い。
- （仮に農地が宅地開発可能となった場合、農家の土地提供など協力を得られるものか？）協力してくれる可能性はかなり高いと思われる。なぜなら、現在農地価格は下がってきており、小作料も安い。したがって、学校周辺に限って宅地にするという考えであれば、協力する農家が出てくる可能性は高い。
- 学校周辺に広い駐車場や家庭菜園があるようなモデル地区を作ってみてはどうか。
- 日本全体の人口が減っている中で、ある部分だけ増やしてもどうなのか。

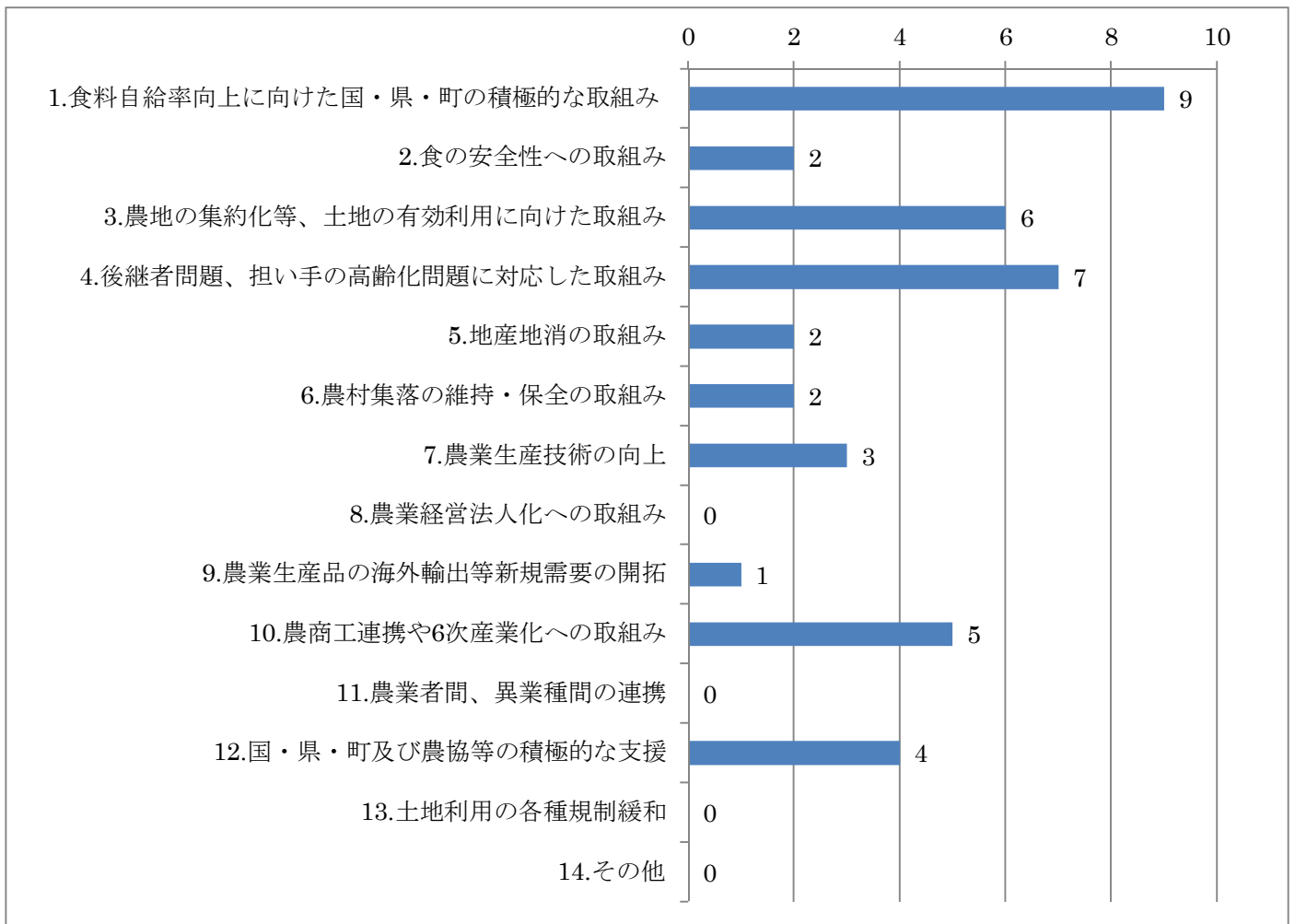
5-1. 高根沢町の農業の将来展望 [問 5 (1) : 1 つ選択]

町の農業の将来展望として、回答者が最も多くあげたのが、「2. 農業経営の法人化や経営の合理化等により、生産性の向上と経営規模の拡大が図られ、依然として町の基幹産業である (8)」となっている。次いで、「3. 農家世帯の高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増加し、産業として衰退している (5)」で、将来も町の基幹産業として重要な役割を果たすことを予想しながらも、高齢化による後継者不足に悩んでいる現状がうかがえる。



5-2. 将来に向けて高根沢町の農業経営を安定的に維持・発展させていくための必要な取り組み [問5(2):3つまで選択可能]

町の農業の将来展望として、回答者が最も多くあげたのが、「1 食料自給率向上に向けた国・県・町の積極的な取り組み (9)」となっている。次いで、「4. 後継者問題、担い手の高齢化問題に対応した取り組み (7)」「3. 農地の集約化等、土地の有効利用に向けた取り組み (6)」で、自給率UPといった需要面と農地集約や担い手対応などの供給面の両面の取り組みが求められている。



●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 農業代表者会議開催時における農業経営に関するご意見

- 農家にとっては規模拡大をしようと思っても、後継者がいないからなかなか難しい。
- 農地の集約化ができれば効率的になるが責任を持って管理してもらえないかわからないため、貸し出すことに抵抗がある。
- 農地の貸し借りは、人と人との取引で、経済的な利害関係（儲かる・儲からない）だけでは割り切れないものがある。

●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 農業代表者会議開催時における本アンケート調査全体に関するご意見

- 本アンケートは代表者だけでなく、全住民に対して意見聴取をしたほうが良いのではないかと感じた。人口増加という観点だけでなく、町の課題やその解決策を検討することが住みよいまちづくりにつながり、結果的に人口が増加することになるのではないかと思う。
- 本アンケートは、農業者代表だけでなく、区長さんや経済懇話会の方々にも実施しているとのことなので、最終的には全住民の意見ということになるのではないかと思う。ただし、農業分野の場合、農業士会だけだと、農家全体（末端）までの意見は見えにくい。
- 農家全世帯を対象にしてはどうか。
- 20歳前後の若者層の意見を重要視すべき。定住してほしい年齢層が若者層であれば、なおさら、彼らの意見を聞くべきではないか。

『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る 農業代表者アンケート調査

高根沢町では、人口減少対策に取り組むため、「高根沢町定住人口増加プロジェクト～定住人口4万人を目指して～」を策定し、人口減少対策に関する施策の立案を行うこととしております。

今回、農業代表者である皆様が、高根沢町の魅力等についてどのようにお考えになられているか（トレンド）を把握させていただくとともに農業代表者の皆様から定住人口増加を図るためのご意見・ご提言を頂戴し、今後の町における定住人口増加施策立案の基礎資料とするため、アンケート調査及びインタビュー調査を行うことといたしました。

ご多忙中とは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただけますようお願いいたします。

平成26年7月

高根沢町長 加藤 公博

◎調査について

- ・本調査は、内閣府 平成26年度 特定地域再生事業費補助金事業の一環として実施いたします。
- ・個人情報の取り扱いについては、個人情報保護に関する関係法令を遵守いたします。
- ・調査結果は、『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定作業のみに使用し、調査目的以外には利用いたしません。

◎提出期限 平成26年8月4日（月）※第2回会議開催時にご提出ください。

◎問い合わせ先 高根沢町夢咲くまちづくり推進課 4万人構想推進係 TEL675-8113

問1. 町では、定住人口を増加させるために、高根沢町の「強み」（他市町と比較して優れている点）を伸ばしていく必要があると考えています。

そこで、あなたが考える高根沢町の「強み」を次のうちからお選びください。

（当てはまるもの3つ以内に○）

1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い	2. 鉄道や道路など交通の利便性が高い
3. 就労場所が豊富、近い	4. 計画的な土地利用により暮らしやすい
5. 土地が安く住宅が建てやすい	6. 子育て環境、支援施策、施設が充実している
7. 教育環境、支援施策、施設が充実している	8. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実している
9. 高齢者福祉施設、支援施策が充実している	10. 身近な場所での買い物の利便性が高い
11. 上下水道、道路など居住環境が充実している	12. 防災、防犯施策によって安心して暮らせる
13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている	14. 地域のつながりが強い
15. 若者が増加、いきいきしている	16. 高齢者の活躍の場が多い

○ 問1で選んでいただいた項目について、具体的な例示等があれば、その内容をご記入ください。

（記載例） 「2. 鉄道や道路など交通の便が良い」を選んだ場合 電車を利用した場合、宝積寺駅から宇都宮駅まで10分程度で行くことができる。
（1）
（2）
（3）

○ 問1の選択肢以外でお気づきの点があればご記入ください。

--

問2. 町では、定住人口を増加させるために、高根沢町の「弱み」（他市町と比較して劣っている点）を克服していく必要があると考えています。

そこで、あなたが考える高根沢町の「弱み」を次のうちからお選びください。

（当てはまるもの3つ以内に○）

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 東京や宇都宮に遠く、地理的な優位性が低い | 2. 鉄道や道路など交通の利便性が低い |
| 3. 就労場所が少ない、遠い | 4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい |
| 5. 土地が高く住宅が建てにくい | 6. 子育て環境、支援施策、施設が充実していない |
| 7. 教育環境、支援施策、施設が充実していない | 8. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実していない |
| 9. 高齢者福祉施設、支援施策が充実していない | 10. 身近な場所での買い物の利便性が低い |
| 11. 上下水道、道路など居住環境が充実していない | 12. 防災、防犯面で不安を感じる |
| 13. 自然環境に恵まれていない | 14. 地域のつながりが弱い |
| 15. 若者が減少、活力がない | 16. 高齢者の活躍の場が少ない |

○ 問2で選んでいただいた項目について、具体的な例示等があれば、その内容をご記入ください。

（記載例）

「4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい」を選んだ場合

市街化調整区域では、都市計画法の制限等により新たな住宅の建設が困難であるため、人口減少が進んでいる。

（1）

（2）

（3）

○ 問2の選択肢以外でお気づきの点があればご記入ください。

--

問3. 本町は、宇都宮市のベッドタウンとして、これまで順調に発展してきましたが、近年、人口が減少に転じています。

この状況に対応しなければ、いずれ人口減少に伴う町全体の活力の低下に留まらず、町の存続すら危ぶまれる事態になることが想定されることから、町では、早急に定住人口の増加に向けた対策が必要であると考えています。

そこで、町の方針に対するあなたの考えを次のうちからお選びください。

(当てはまるもの1つに○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 定住人口増加に向けた対策を進めるべき2. 現状維持のための対策を進めるべき (定住人口増加は必要ない)3. 積極的な対策は必要ない (人口減少も止むを得ない) |
|--|

○定住人口増加に向けた具体的な対策 (方法・手段) についてご意見・ご提言をご記入ください。

問4. 定住人口の増加を図るためには、優良かつ安価な宅地の供給が必要になると考えられます。
そこで、町の土地利用に対するあなたの考えを次のうちからお選びください。
(当てはまるもの1つに○)

1. 市街化区域と市街化調整区域の両区域で住宅地を増やすことが必要
2. 市街化調整区域内の農地等を活用し、住宅地を増やすことが必要
3. 市街化区域を拡大し、住宅地を増やすことが必要
4. 市街化区域内の未利用地を活用して住宅地を増やすことが必要
5. 現状のままで良い
6. その他 ()

○定住人口の増加に向けた土地利用に関するご意見・ご提言をご記入ください。

問5. 町では、定住人口増加施策を展開するうえで、基幹産業である農業の維持・発展は、地域経済の活性化のみならず、自然景観、自然環境の保全の意味からも重要であると考えています。

そこで、農業の代表者として、次の2つの質問にお答えください。

(1) 農業経営の専門家の見地から、高根沢町の農業（人と農地）は将来（2050年まで）どのようなになっていると考えますか。

(当てはまるもの1つに○)

1. 現状と変わらない
2. 農業経営の法人化や経営の合理化等により、生産性の向上と経営規模の拡大が図られ、依然として町の基幹産業である
3. 農家世帯の高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増加し、産業として衰退している
4. わからない
5. その他 ()

(2) 将来に向けて高根沢町の農業経営を安定的に維持・発展させていくためには、どのような取組みが必要だと考えますか。

(当てはまるもの3つ以内に○)

1. 食料自給率向上に向けた国・県・町の積極的な取組み
2. 食の安全性への取組み
3. 農地の集約化等、土地の有効利用に向けた取組み
4. 後継者問題、担い手の高齢化問題に対応した取組み
5. 地産地消の取組み
6. 農村集落の維持・保全の取組み
7. 農業生産技術の向上
8. 農業経営法人化への取組み
9. 農業生産品の海外輸出等新規需要の開拓
10. 農商工連携や6次産業化への取組み
11. 農業者間、異業種間の連携
12. 国・県・町及び農協等の積極的な支援
13. 土地利用の各種規制緩和
14. その他 ()

<p>ご氏名</p> <p>※差し障りがなければご記入ください。</p> <p>後日、アンケートの回答内容について確認をさせていただきます場合等に使用させていただきます。</p>	<p>ご氏名</p> <hr/>
--	-------------------------

～ ご協力ありがとうございました ～